

寿岳文章一家 その人と仕事を追う

主催 特定非営利活動法人向日庵

12月15日(土) 14時より

会場 長岡京市立中央公民館 創作室

定員 60名 予約不要

参加費資料代 1,000円

正会員・友の会会員無料

当日入会申し込み可

◆ 「昭和初期の向日町と文化人」

玉城 玲子(向日市文化資料館館長)

◆ 『和紙研究』 解読

田村 正(京都工芸繊維大学非常勤講師)

『和紙研究』とは

昭和11年秋、京都大学楽友会館で開催された「紙に関する座談会」を機に和紙研究会が発足する。研究会には、新村出、藤堂祐範、禿氏祐祥、牧野信之助、上村六郎、大澤忍、寿岳文章の七名が同人として参加した。新古東西の紙に関する研究発表の場として会が発行した『和紙研究』第1号(昭和14年)～第17号(昭和59年)は、紙、趣味、各産地紙紹介、見本紙標本解説、和紙研究文献解題などを内容とした昭和を代表する和紙論文の機関誌です。

向日庵(こうじつあん)

和紙研究者、ダンテ『神曲』の名訳で知られる英文学者、寿岳文章の居宅。NPO 法人向日庵は、一家の文化的業績を伝える活動を行い居宅の保存を目指しています。

事務局：〒617-0002 向日市寺戸町東ノ段9番地9

FAX 075・933・8928 <https://koujitsuan.kyoto>



◆ 阪急…京都線長岡天神駅西口徒歩6分

◆ JR…東海道線長岡京駅西口徒歩20分

阪急バス「阪急長岡天神」経由で

「開田」下車徒歩1分所要時間6分

お問合せ 090・7555・8497 (中村)